

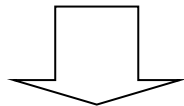
1 はじめに

県や市の委嘱や指定を受けている学校以外でも、体育科を中心とした学校課題研修に取り組む学校が東部管内で増えてきている。その背景には、「体育を通して学校全体に活気を生み出したい。」「授業規律の共通理解と徹底を図りたい。」「運動に対する二極化と生活習慣の改善を図りたい。」と様々である。

本資料を、学校における体育科を中心とした研究の参考材料にしていきたい。

2 体力の高い学校の共通点

- 指示が短く、明確で、運動量が豊富な授業が日常的にできている学校
- 毎時間のねらいが明確に示され、正対した振り返りが日常的にできる学校
- 学び合いのある授業が日常的にできている学校
- 授業の流れの基本ベースがあり、共通理解・共通行動がある学校



3 学校における体育授業の流れの確立

上記の4つの視点を踏まえると、各学校における研究の目的に即した、基本的な45分の授業の流れ(1単位時間の指導計画)を確立するメリットは大きい。

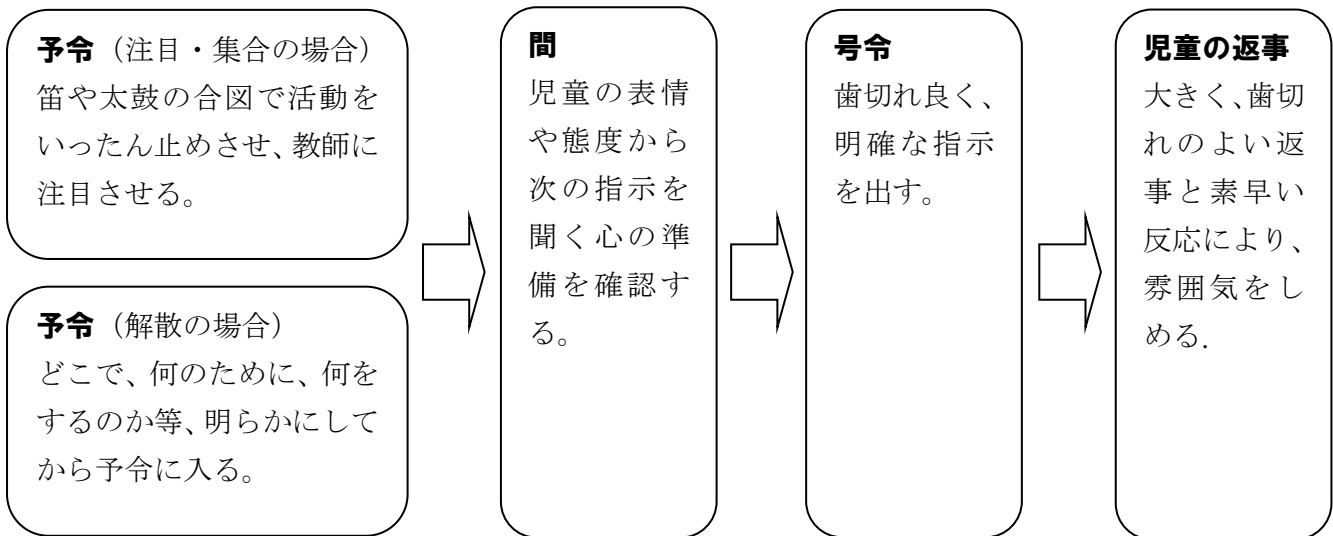
また、担任が指導する小学校において、6年間の系統性を考慮した場合も、このメリットは大きいと考える。

段階	学習内容・活動	留意点
導入	1 集合・整列・健康観察・挨拶 2 前時の振り返り (自己評価) 3 準備運動 4 用具・場の準備等 5 感覚づくりの運動 (慣れの運動)	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>各校の児童の実態や発達段階に応じて、学習内容・活動における留意点を示すと良い。</p> <p>左記の流れは、例示であり、限定されるものではない。</p> </div>
展開	6 本時のねらいや学習内容の確認 7 主となる運動(活動) 8 途中指導等 9 学習のまとめ	
整理	10 後片付け 11 学習の振り返り 12 整理運動 13 整列・健康観察・挨拶	

4 体育授業を支える取組例

指示の出し方

実際の授業においては、道具等を活用しながら以下のような指示を出す場面も出てくる。予令、間、号令に配慮しながら指示を出すことで、児童の素早い動きが生まれ、運動学習場面が確保されるとともに、児童のやる気が高まる。もちろん、時と場合、また状況や運動領域に応じ、変化をもたせる必要もある。



集合の例)	ピピッ！	・・・	集合！	「はい！」
解散の例)	練習	・・・	開始！	「はい！」
整列の例)	前へ	・・・	ならえ！	素早く動作

勇気を持って、「前へ…ならえ！」

授業のリズムや雰囲気づくり

場面に応じた雰囲気をつくり出すことも体育授業を成功させる重要なポイントとなる。また、教師側で意識をしていると授業にメリハリをつけることができる。

それぞれの場面で適切な雰囲気ので、子供たちが思いっきり運動できるように、授業での仕組み方を考えたい。

様々な雰囲気づくりの例

緊張感のある場面

- ・あいさつ
- ・発表会
- ・スタート前
- ・競走(争)、記録の計測
- ・みんなの前で演技 など



真剣！に取り組む場面

- ・準備運動
- ・慣れの運動
- ・練習
- ・話し合い、教え合い
- ・思考、判断
- ・準備、片づけ など



盛り上がる場面

- ・友達の成功
- ・得点、勝利
- ・記録の伸び
- ・ゲーム前 など



和む場面

- ・授業前、後
- ・握手 など



※ 資料提供：三郷市教育委員会

5 学習過程(単元計画)の作成例

教えるべきことをしっかり教え、成果を保障しながら学習を積み重ねるために、「共通して学ばせること」と「児童が自主的・主体的に活動すること」を明確にすることを念頭において、以下の例を示す。

単元前半の学びを単元後半に活用する学習過程

	単元前半	単元後半
0	感覚づくりの運動（慣れの運動） <input type="checkbox"/> 体育授業を支える運動、主運動につながる基礎的・基本的な運動、部分練習を行う <input type="checkbox"/> 質の高さと運動量を確保して、単元全体で、または段階的に扱う	
45	<input type="checkbox"/> 既習技に取り組む <input type="checkbox"/> 共通課題に取り組む <input type="checkbox"/> みんなでやってみる <input type="checkbox"/> 個人やグループのスキルアップに取り組む 「共通して学ばせること」	<input type="checkbox"/> 発展技に取り組む <input type="checkbox"/> 挑戦課題に取り組む <input type="checkbox"/> 選んだり、決めたりした活動に取り組む <input type="checkbox"/> チームが勝つための学習、グループの発表に向けての活動に取り組む 「児童生徒が自主的・主体的に活動すること」

45分間で学習を積み重ねる学習過程

	単元全体
0	感覚づくりの運動（慣れの運動） <input type="checkbox"/> 体育授業を支える運動、主運動につながる基礎的・基本的な運動、部分練習を行う <input type="checkbox"/> 質の高さと運動量を確保して、単元全体で、または段階的に扱う
45	<input type="checkbox"/> 既習技に取り組む <input type="checkbox"/> 共通課題に取り組む <input type="checkbox"/> みんなでやってみる <input type="checkbox"/> 個人やグループのスキルアップに取り組む <input type="checkbox"/> 発展技に取り組む <input type="checkbox"/> 挑戦課題に取り組む <input type="checkbox"/> 選んだり、決めたりした活動に取り組む <input type="checkbox"/> チームが勝つための学習、グループの発表に向けての活動に取り組む 「共通して学ばせること」 「児童生徒が自主的・主体的に活動すること」

※ 上記の流れは例示であり、これに限定されるものではなく、児童の実態や運動の特性に応じてバランスを考慮したり、組み合わせたりできる。

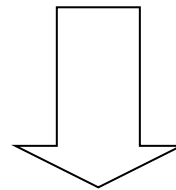
6 学校全体の取組について

研究組織の例

- A 授業研究部（授業実践の研究を推進）
- B 体育活動部（授業外の体育的活動の研究を推進）
- C 環境整備部（運動環境を整え、掲示教育の研究を推進）
- D 体育行事部（体育行事の活性化を図る研究を推進）
- E ○○達成部（焦点を絞り、子どもたちに達成させたいものを徹底する研究を推進）
- F オリパラ教育推進部（オリンピック・パラリンピック教育研究を推進） など

学校の規模を考える

- 研究部を精選する。数を2～3つに絞る。
- 各部に部長を置き、部長が中心に企画・立案する。
- 全員で、部長の企画・立案を検討し、実施していく。
- 研修主任が活動時期をバランスよく、計画する。
- 授業研究があるときは、該当学年の授業研究と組織された部の活動を同時に実施することはなるべくせずに、授業研究のときは、思いっきり授業研究に取り組めるようにしていく。



成果を味わいながら

- せっかくなので、児童も先生も「やってよかった。」
- せっかくなので、たくさんの児童の笑顔に出会える研究にしたい。